



2018/05/14 43号線橋梁下

43号線橋梁下護岸工事の様



2018/05/14 阪神高速橋梁下

河口拡幅区間末端。埋め立て工事が始まった。



2018/05/11 7号堰

仕切り堤体が流路を大きく変え、アユも道に迷ったかも？



2018/05/22 新幹線橋梁

袋玉石が敷き詰められ工事も終盤に入った。



2018/05/14 1号堰

5月初めに遡上が終わったと思っていたが増水で遡上再開した



2018/05/17 4号堰

この程度の水量になればアユは落差2m程度の堰も超えていく。

43号線橋梁下の工事も終盤を迎え、金網に自然石を貼り付けたような被覆材で低水護岸を覆ってお仕舞い模様で埋め立て工事が始まり、工事用の土嚢撤去作業も進んでいる。何時始まるかわからないが阪神高速橋梁補強工事後に掘り起こし計画通りの姿になるらしい。それにしてもこれまで見た事のない簡便な低水護岸大丈夫なのか気になる。

新幹線橋梁右岸護岸復旧工事も順調に進み護岸工事は終了した模様で護岸際に袋玉石が並べられた。施工の都合上のことかも知れないが、流れを左岸に寄せるように砂を盛り上げた堤防上の工作物や、左岸寄りに積み上げられた堤防上の砂がどうなるのだろうか。中程から右岸まで平坦化された砂州もどうなるのか分からない。中央に砂州が広がり左右に分かれていた流れも、左岸寄りに集まり左岸側が洗掘されないか心配になる。

住吉川は例年通り4月初旬遡上開始。武庫川も例年通りの遡上を期待していたが、遅れ4月末ようやく遡上を始め4月29～31日迄は遡上確認。5月1日以降パタッと止んだ。改修工事の影響の有無は分からないが、5月14日の降雨増水から再遡上4号堰を超えるアユ確認。潮止め堰・水量・水温など複雑な自然環境が整えば遡上するのだろう。